

しまねろうふく



今月号の目次

私の職場・ふるさと紹介	2
地区労福協だより	3
地域におけるネットワーク活動の展開	4・5
労金からのお知らせ	6
全労済からのお知らせ	7
ライフプランセミナー開催	8
県労福協10・11月の活動予定表	8



邑智地区労福協 (表紙・都賀遠景)



労福協とは

労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。

私の職場・ふるさと紹介

邑智地区労働協

会長 高橋 武司

皆さんこんにちは。邑智地区労働協の高橋です。私たち邑智地区労働協は、邑智郡をその活動区域として交流・研修などの事業を行い、連帯と活性化を目指して活動しています。邑智郡は、平成十六年十月の市町村合併で七町村から邑智町・川本町・美郷町の三町になりました。

私たちの職場はその中の美郷町にあり、現在は企画課で勤務しています。美郷町は、旧邑智町と旧大和町の二町村が合併してできた町で、人口六千二百人あまりの典型的な中山間地域にある過疎の町です。

位置は島根県のほぼ中央にあり、町域内を中国地方随一の江の川が大きく蛇行しながら貫流しています。美郷町では、恵まれた森林資源や江の川の清流など、豊かな水と緑を地域固有の魅力と可能性をもった資源として位置づけ、積極的に活用すること、都市と農村の交流などにお



▲粕洲遠景



▲カヌー体験



▲オートキャンプ場

いて、地域ブランドを発揮した町づくりを発展していきます。その一つとして「食」と「泊」と「体験」をセレクトした田舎ツーリズムを展開しています。

中でも、イターンの方がオープンされた「農家レストランゆるり」を中心とした田舎ツーリズムでは、「食」部門は「ゆるり」が受け持ち、「泊」部門は、近くの農家三軒が受け持ち、「体験」部門は、茶摘みやカヌーなどお客様のニーズに合わせた体験ができるよう設定するなどしています。

「農家レストラン「ゆるり」はスローフードをテーマにしています。スローフードとは、単にゆっくり食べようといったことではなく、ますますファーストライフ化している現代であるからこそ、「時間」をかけて丁寧に、素材・食材を選び、いつもは漠然と口に入れていた素材や料理について考えながらゆっくりと料理し、ゆつくり食べ、一緒に食事をすると人と会話を楽しむ時間を大切にすること」という意味であり、ファーストフードの反対語です。

こうした、食と体験に宿泊も含めた田舎ツーリズムを念頭に、ヘルシー派にはゴルフ・テニス・アスリート、アウトドア派にはカヌーの里おち、温

泉派には湯温泉大和荘・千原温泉、湯抱温泉、川情緒を楽しむには江の川遊覧船と、幅広く体験して楽しんでいただきたいと思います。

それから、あまり知られていませんが、美郷町内には石見銀山街道があります。平成十九年に世界遺産登録予定の大田市大森にある石見銀山遺跡、かつて世界の銀産出の三分の一を誇り、江戸幕府の屋台骨を支えた石見の銀は、仁厚町と湯津町の港から博多などの港へ運ばれた海路とは別に、陸路で尾道まで運ばれた後、船で大阪まで運ばれました。美郷町内には今も当時の面影を残す街道跡



▲中村旅館風呂



▲田舎ツーリズム

が各所に残っています。興味のある方は是非一度お出でになってみてはいかがでしょうか。

また、美郷町は基本理念を「水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち」と設定し、特に住民と行政の協働による町づくりを進めています。その代表的なものとして、新たなコミュニティの形成として自治会の再編を行いました。今までは、一〇三もの小さな自治会それぞれ活動をしていたものを、大きな単位の連合自治会を編成し、その中に小さな単位の自治会がはいるという形のコミュニティ組織に再編しました。これにより、自治会組織が強化され地域の問題解決や住民が主体的に参加するコミュニティ活動が展開されることになりました。

さらに、町内四カ所に「交流センター」を設置し、複数の職員を配置することとで行政サービスの提供や公民館活動を積極的に推進しています。そして町職員全員を地域に割り当て、住民自治活動の支援を行う「町議員の地域担当制」を導入しています。

合併によって広がった行政エリアの中で行政サービスや地域の活力が低下せず、住民と行政が協働して支え合っていくことができるコミュニティの町づくりを進めています。

種々雑感

総合生活支援 サービス体制の実現に向けて



島根県労働者福祉協議会 事務局長 神門 至

日銀が統計を取り始めて以来初めて「家計の金融収支が赤字」になったことが明らかになりました。また、率減税の段階的廃止の検討が開始されるなど、明るい話題は少なく、労働者の生活は依然として厳しい環境下にあります。

こうした中、連合中央労働協賛会（全労連）は、人口の減少・高齢化等をはじめとした社会構造の急激な変化にあつて、労働者の暮らしに関する不安を解消し「ゆとりと豊かさ」を追求することができ「共同の活動（事業）」のあり方について検討してきました。その結果、それぞれの団体・組織が「創業の初心」に立ち返り、自らの役割と責任への決意を新たにするとともに、労働組合・労働者福祉事業団体、ならびに目的を同じくするNPO・市民団体等が協力し「労働者の暮らし全般にかかわる支援（サポート）」事業活動の具体化の必要性について認識が共有されたと考えられます。その内容は、連合が第九回大会に提案される「地方連合会・地域協議会改革の具体的実施計画」にある地域協議会をネットワークの中心に据えた「ライフサポートセンター（仮称）」の設置による労働者の生活相談や支援のための拠点作りと共通するものであります。

本誌No.二四五号では、四一五頁に「ワンストップサービス（総合生活支援サービス体制）」の具体化に向けて、に関する地域ネットワークの指針を掲載致しました。今後、本県においても可能な限り速やかに連合・労働協賛会・労働組合・全労連を中心とした中で、地域を拠点としたワンストップサービスの実現に向けた体制作りについて検討してまいりますので、皆様方のご意見を賜りますようお願い申し上げます。

～ワンストップサービスの具体化に向けて～

3. 今後の各団体の重点課題

(1) 連合 組織率20%未満の危機突破 労働運動の再生・活性化

- 労働運動、労働者福祉運動の再結集をはかり、ネットワーク化での総力戦で挑戦（連合、労福協、労金、労災、志を同じくするNPO等）
- 「地域社会に貢献する連合運動」をめざし、地協の再編と専従者配置による取り組み推進。

(2) 労福協

- 事業団体、労働団体、NPO、ボランティア等とのネットワーク化の推進
- 福祉なんでも相談活動の全国展開
- 退職者・高齢者との連携・支援、団塊世代の地域活動参加への支援
- 現在進めている各取り組みの一層の強化・拡充

(3) 労働金庫

- 連合、福祉事業団体、NPO等との連携を強め、勤労者ネットワーク網を構築。
- 新規加入会員の拡大、若年、女性、組合に組織されていない一般勤労者との取引推進。
- 生涯取引を強化するため、団塊世代の「友の会」への加入促進と離・退職者の継続取引のための受け皿組織の構築、「友の会」と地域相互会を包含したクラブ組織（仮称・グッドマネークラブ）の検討開始。
- 研修会、学習会、相談会、多重債務防止に向けた消費者教育の展開など、生活応援運動の強化・推進。

(4) 全労済

- 「生活保障設計運動」の展開で組合員と接点を密接にしリタイア後も見据えた「生涯生活保障設計運動」の実践で生涯組合員の実現。
- 高齢者向け商品開発や介護サービス事業を通じ、リタイア後の継続利用。

4. ネットワーク化への展望に向け

- 連合、労福協、労働金庫、全労済などによる連携（ネットワーク化）を強化することで、多様な活動と地域における安心システムの構築に貢献することを目指す。
- このため、連合が「地方連合会、地域協議会議会改革の具体的実施計画」（第9回大会議案）で示す全国100のモデル「地域協議会」（地協）をこのネットワークの中心的拠点とする。
- 連合・地協と各団体とによる共同事業（活動）を運営する「ライフサポートセンター」（仮称）等を設け、一元的な相談対応と各種生活に係る支援を行う。

〔各団体の取り組み効果〕

〔連合〕

- 地域住民たる組合員はじめ未組織労働者、市民へのアプローチ拡大
- 地域に顔の見える存在アピール

〔労福協〕

- 生涯生活や相談事を総合的に支え、不安や悩みを応えるには、労福協だけでなく、財源、人材の確保の点からも幅広い連携が有益。

〔労働金庫〕

- 若年・女性・中小企業・非典型勤労者との取引拡大（個人加盟も可能な「地域ユニオン」との取引拡大）
- 離・退職者との取引継続。
- NPO、市民団体との地域横断的なネットワークの構築による広範な相談・サポート支援体制の強化。
- 勤労者福祉運動強化に向けた新たな運動展開と人的資源の活用。
- 地域オビニオンリーダーの養成。

〔全労済〕

- 地域組合員との接点拡大による共済利用者の拡大

5. 連合・中央労福協・労金協会・全労済の合意（案）

1. 連合・中央労福協・労金協会・全労済は、連合が提起したモデル「地域協議会」（地協）を拠点としたワンストップサービスの実現に向けた、各団体とのネットワーク化に関する取り組みを推進する。
2. 各地方においても、中央の4者合意を受け、地域におけるワンストップサービスの具体化に向けた各団体の事業、活動、人材のネットワークの協議を開始し、その具体化に向けた取り組みを推進していくこととする。

地域におけるネットワーク活動の展開

目標

労働組合と労福協・事業団体との
連携による地域の支え合い基盤の確立

方針

ワンストップサービスの具体化に向けた
地域ネットワークの形成

ネットの強化

1. 地域の現状

- 失業・不安定雇用の拡大と社会保障制度の危機
・企業の総額人件費削減→パート・派遣・契約労働者など不安定の増大→労働組合組織率の低下（2004年推定組織率19.2%）
・フリーター、ニートの増加→社会保険未加入、未納の増大→社会保険の空洞化
・正規従業員不足→長時間労働、過労・ストレス増加
- 少子・高齢化の一層の進行
・子育て支援、介護システムの遅れ
・女性労働者、パート等労働者の増加→組織化の遅れ
・人口減少、高齢者の人口急増→労働力減少
- 家族の支え・企業福祉・公共事業の限界
・少子化、核家族化→高齢家族、単身化
・地域のコミュニティの崩壊
・日本型雇用システムの変化→企業内福祉の抑制

2. 連合・労福協・労働金庫・全労済の取り組み

ー地域の支え合いによるコミュニティの形成ー

【連合】

- 組織拡大＝組合づくり・アクションプラン21の実践
- 税・社会保障制度の抜本改革の取り組み
- 「地域福祉」を自ら担う自主福祉活動の取り組み
- 雇用・就労形態間、男女間等の均等待遇の取り組み（運動の力点）
- 中小労働者とパート・契約・派遣労働者対策
- 地域に根ざした顔の見える運動の構築

【労福協】

（重点政策課題）

- 中小企業勤労者福祉サービスセンターの充実・再生
- 介護サポート
- ファミリーサポート・子育て支援
- 退職者・高齢者との連携・支援
- ライフセミナー・生活応援運動（その他の主な取り組み）

- 福祉なんでも相談活動

- 就業支援・無料職業紹介

- 介護相談・体験介護教室・ホームヘルパー養成講座等

【労働金庫】

- 「友の会」を通じた退職者との取引継続、「互助会」を通じた一般勤労者との取引拡大。

- ローンセンター、FB・IBなど取引チャンネルの拡充、HPの充実、マス広告の展開。

- 労金運動をリードするニュー・オビニオン・リーダーの養成に向けた職場推進機構の活性化と中央講師団の活用。組合機関誌を通じた広報と宣伝。

- 「生活応援運動」の展開。

- 非自発的離職者、収入減少者の支援＝勤労者セイフティネットの強化。

- 多重債務の未然防止のための消費者教育・金銭教育の実施。

- 多重債務者の救済・改正に向けた相談業務の強化。

【全労済】

- ライフプラン設計へのサポート：生活保障設計運動の展開による組合員の保障計画・資金計画へのサポート、アドバイザー・窓口要員の個別相談

- 高齢者への対応「全労済在宅介護サービスセンター」による居宅介護事業支援、ホームヘルプサービス（訪問介護）事業、デイサービス（通所介護）事業および訪問入浴事業

松江のまちに融資専門店舗開設(中国労働金庫)

「ローンセンター松江」10月15日オープン

中国労働金庫は、10月15日、松江市上乃木にある松江南支店二階に「ローンセンター松江」をオープンする。松江市内には、ろうきんの支店が現在3店舗あるが、ローンセンターは融資業務のみを行う専門店として、広く市民に住宅資金や各種ローンについてのきめ細やかなサービスが提供できるとしている。



ローンセンター松江
OPEN

平日は午後7時まで、土曜日も午後5時まで

「ローンセンター松江」は、午後5時まで営業する。住宅ローンを中心とする融資専門店で、定休日を毎週水曜日と日曜・祝日とし、平日は午前11時から午後7時まで、土曜日は午前9時から午後5時まで営業する。これまで市内の会員構成員や勤労者は支店の営業時間内に窓口で相談していたが、ローンセンターの開設により、仕事帰りや土曜日に立ち寄りやすくなる。

ることができ、十分な時間をとって家族そろって相談したり、住宅取得に関連する様々な情報を得ることが出来るようになる。

住宅関連業者も期待

旧山陰労働金庫時から関係の深い島根県宅地建物取引業協会の佐田勇事務局長も次のようにコメントしている。

「当協会は、平成九年に県下で唯一、旧山陰労働金庫の協力により宅建住宅ローン制度を設立し、統合後の中国労働金庫とも提携し、会員が顧客サービスを受けることができるようにしている。」

「当協会は、平成九年に県下で唯一、旧山陰労働金庫の協力により宅建住宅ローン制度を設立し、統合後の中国労働金庫とも提携し、会員が顧客サービスを受けることができるようにしている。」

ローンセンター松江



2005年
10月改定

組合員のみなさまの声にもとづき、大きくバージョンアップした

新しいこくみん共済、誕生です。

医療終身タイプ

NEW

加入できる方
満15～満64歳の健康な方

- 0泊1日の日帰り入院から保障。
- 長期入院でも安心です。
入院1回あたり最高180日、通算で1,000日まで保障。
- 入院と手術、2つの医療保障にしほり、手頃な掛金を実現しました。もちろん保障は一生涯。
- 掛金は加入時の（発行日）の年齢・性別によって決まり、一生涯アップしません。
- 万一のとき、掛金の払い込みを免除します。

不慮の事故で所定の身体状態になった場合、以後の掛金は免除になり、保障はそのまま一生続きます。

※契約者のご家族の方で、今回はじめて「こくみん共済」に加入される方は、

総合タイプ 総合介護タイプ 大型タイプ
医療タイプ シニア総合タイプ シニア簡易タイプ

のいずれかとセットでお申し込み下さい。

けがにも病気にも生涯の安心を。

セットできる保障タイプが新登場！

●保障内容

けがや病気で入院したとき	手術を受けたとき
1日につき 3,000円 （入院1回あたり1日1日から最高180日、通算で1,000日分）	1回につき 30,000円 （全労済所定の手術）

●掛金例

加入年齢：満35歳・男性
掛金支払方法：月払
掛金払込期間：終身払
掛金/月額 **1,548円**
（更新などによる掛金の上昇はありません）

手術：3,000円
入院日額：30,000円

終身保障

保障を入院と手術にしほり解約返戻金をなくしたことで、ご加入しやすい掛金となりました。

※医療終身タイプを含め、こくみん共済すべてがタイプで解約返戻金はありません。

全労済「第九回通常総代会」が終了しました

二〇〇五年八月三〇日～三十一日にかけて、全労済ホール／スペースゼロ（東京都渋谷区代々木）にて、第九回通常総会が行われ、第三期計画、二〇〇四年度事業報告、二〇〇五年度二〇〇六年度（第4期計画）、役員選挙などの議案が承認、決定されました。

島根県本部からは、浅沼理事長以下、大下専務、沢田総務委員長、原田事業推進委員長、妹尾理事、長岡理事が代議員として出席されました。

また、役員選挙によって、鷲尾悦也理事長が退任され、石川太茂津氏（静岡）が理事長として新任されました。

「個人向けの融資」の勧誘にご注意下さい。

最近、「個人向け融資（ローン）」を勧誘するダイレクトメールが、全労済の共済商品である「こくみん共済」に類似した社名等を名乗り配布され、全労済にお問い合わせいただいております。

全労済は、こうしたダイレクトメールと一切関係がありませんので、十分ご注意ください。

大型タイプ

NEW

加入できる方
満15～満44歳の健康な方
（最高満60歳まで保障）

ワイドな保障プランに、頼れる大型タイプが新登場！

月々の掛金
5,400円

満15歳 満60歳

保 障 内 容		大型タイプ 月々の掛金 5,400円 共済金額
死亡・重度の障害が残ったとき (1級・2級と、3級の一部)	交通事故	交通災害死亡共済金 交通災害重度障害共済金 3,000万円
	不慮の事故	災害死亡共済金 災害重度障害共済金 2,400万円
	病気等	死亡共済金 重度障害共済金 1,200万円
身体に障害が残ったとき (3級の一部～14級)	交通事故	交通災害障害共済金 1,350万円～60万円
	不慮の事故	災害障害共済金 1,080万円～48万円
常に介護を要するとき	介護支援共済金	1,000万円
入院したとき (5日以上入院のとき) (1日目から最高180日目)	交通事故	交通災害入院共済金 (日額) 10,000円
	不慮の事故	災害入院共済金 (日額) 6,000円
	病気等	病害入院共済金 (日額) 3,000円
通院したとき (1日目から最高90日分)	交通事故	交通災害通院共済金 (日額) 3,000円

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。
ご契約の際には「ご契約のてびき」を必ずご覧ください。

ライフプランセミナー 開催

参加費
無料



参加対象者

県内に在住あるいは中小企業で働く勤労者の方を対象に募集します。各会場とも総定員は100名とし、定員になり次第締め切らせていただきます。

開催月日・会場・申込み締切日

出雲会場 場所:ビッグハート出雲

2005
10/16(日) 13:30~17:00

申込締切:10/10(月) 対象地域:出雲・平田・雲南・大田

浜田会場 場所:浜田ニューキャッスルホテル 浜田市駅前83-124

2005
11/13(日) 13:30~17:00

申込締切:11/7(月) 対象地域:江津・邑智・浜田・益田

松江会場 場所:松江・労働会館 松江市御手船場町557-7

2005
11/27(日) 13:30~17:00

申込締切:11/21(月) 対象地域:松江・安来・隠岐

セミナープログラム

13:30~ 受付

13:45~ 開講式

14:00~ (第一部) 生きがい講座(講演)
(90分) ~団塊世代の明るい未来~

講師 芥川賞作家 三田 誠 広
み た まさ ひろ



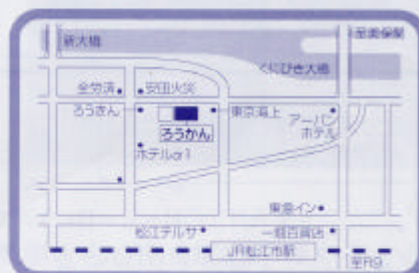
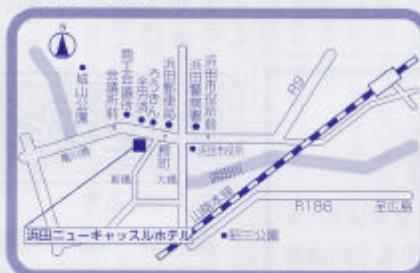
【プロフィール】昭和23年大阪生まれ。早稲田大学文学部卒。昭和52年「僕って何?」で芥川賞。青春小説「いちご同盟」、宗教小説「釈迦と維摩」、歴史小説「桓武天皇」などの他に、「団塊老人」(新潮新書)、「スダの謎、イエスの謎」(ノンブックス)などのエッセーを執筆。日本文藝家協会常務理事、日本文藝著作権センター事務局、文化庁著作権分科会委員、早稲田大学文学部客員教授

15:30~ (第二部)
(各90分)

(第1会場)
社会保証制度の基礎知識・退職後のプラン
(第2会場)
在職時からのライフプランと生産保証設計
ファイナンシャルプランナー

17:00~ 閉講式

※参加ご希望の方は、お電話(0852-23-3302)にて予めご予約をお願い致します。
※誠に勝手ながら、定員に達し次第、お申し込みを終了させていただきますので、その際はご容赦下さい。
※当セミナーに関するお問い合わせは、島根県労働者福祉協議会(TEL:0852-23-3302)までお願い致します。



共済

中国労働金庫島根県支部本部・全労済島根県本部・地区労働者福祉協議会

後援

島根県・島根県商工会議所連合会・島根県商工会連合会・島根県中小企業団体中央会・島根県経営者協会・山陰中央新報社・山陰中央テレビ(株)・島根県東部勤労者共済会(財)・島根県西部勤労者共済会

問い合わせ・申し込み先

【主催】
島根県労働者福祉協議会 (担当:神門・竹下)
ライフプランセミナー係
TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303

県労福協 8・9月事務局活動日誌(報告)

日付	曜日	内容	時間	会場
8/01	月	新社会人のための消費生活講座・労働相談	18:00~	銀行高松
8/02	火	出雲地区労働協2005年度第2回総会	18:30~	出雲会館
8/03	水	新社会人のための消費生活講座第2回	9:30~	津和野工芸館
8/17	水	県労協第139回総会	9:30~	労働会館201号室
8/17	水	県労協第139回総会	11:00~	労働会館201号室
8/17	水	しまね・さやがやか労働者センター2005年度第2回総会	14:30~	労働会館201号室
8/17	水	しまね・さやがやか労働者センター2005年度第2回総会	18:00~	労働会館201号室
8/18	木	内田信康氏の政治経済塾を受講する会	18:00~	ホテル・関
8/18	木	東部地区労働者共済会創立10周年記念事業第2回総会	10:00~	松江テルサ
8/22	月	地区労働者共済会総会	12:30~	労働会館202号室
8/24	水	西部地区チャリティースポーツ大会(全体57名)	8:00~	金沢J.C
8/25	木	新社会人のための消費生活講座第2回	10:00~	県教育委員会
8/29	月	ライフプランセミナー・浜田会場第1回	13:30~	浜田地区労働会館
8/31	水	ライフプランセミナー・松江市会場第1回	10:00~	松江市会館
9/02	金	ライフプランセミナー・松江市会場第2回	13:30~	松江市会館
9/05	月	東部地区労働者共済会創立10周年記念事業第3回総会	13:30~	松江テルサ
9/08	木	中国労協・中国プロテック労働者共済会	16:00~	松江プロテックホテル
9/12	月	ライフプランセミナー・松江市会場第3回	10:00~	松江市会館
9/15	木	福徳会山陰地方協議会創立10周年大会	14:00~	ホテル千景
9/17	土	J.A.M.L.第27回大会	11:00~	労働会館401号室
9/20	火	西部労働者共済会第2回総会(〜21日)	15:00~	高松
9/21	水	中国労協労働者共済会2005年度第1回総会	12:30~	岡山労働会館第3
9/26	月	中国労協チャリティースポーツ大会(全体57名)	8:00~	金沢J.C
9/27	火	島根県・2005年度特別労働相談会	13:00~	県労働会館第2
9/27	火	ライフプランセミナー・松江市会場第4回	15:00~	労働会館第2
9/28	水	ライフプランセミナー・松江市会場第5回	9:00~	ビッグハート出雲

県労福協 10・11月事務局活動予定表

日付	曜日	内容	時間	会場
10/03	日	東部地区労働者共済会創立10周年記念事業内容第4回検討委員会	10:00~	松江テルサ
10/04	火	県労働者共済会委員会	18:00~	労働会館第2
10/06	木	第5回地方労働相談会(〜7日)	15:00~	ホテルラングウッド
10/11	火	県労働者共済140回総会	14:30~	浜田フロンティアホテル
10/11	火	地区労働者共済会・三都合会共済会総会	16:00~	浜田フロンティアホテル
10/14	金	中国地区チャリティースポーツ大会	8:30~	大社J.C
10/16	日	ライフプランセミナー・出雲会場	13:30~	ビッグハート出雲
10/29	土	第14回全国ボランティアフェスティバル・出雲の国くまもと	14:00~	グランメッセ松本
11/01	火	西部労働者共済会第24回総会(〜2日)	14:00~	ワークピア出雲
11/09	水	2005県民シンポジウム	13:00~	全労済会館・セロ
11/13	日	ライフプランセミナー・浜田会場	13:30~	浜田ニューキャッスルホテル
11/15	火	安来地区第26回労働相談会	10:00~	中国労協安来支店
11/15	火	大田地区第26回労働相談会	10:00~	大田バスターミナル
11/17	木	江津地区第26回労働相談会	10:00~	いばせんセンター
11/17	木	浜田地区第26回労働相談会	10:00~	浜田労働会館
11/24	木	出雲地区第26回労働相談会	10:00~	未定
11/27	日	ライフプランセミナー・松江会場	13:30~	労働会館401号室

しまねろうふく

2005.10 vol.345

2005年10月1日発行(偶数月1日発行)
編集/「しまねろうふく」編集部 発行責任者/神門 至
発行/島根県労働者福祉協議会 松江市御手船場町557-7 TEL0852-23-3302



HOMEPAGE <http://www8.ocn.ne.jp/~rofuku/>

E-mail: rofuku@gaea.ocn.ne.jp